

## 平成26年度 地熱開発理解促進関連事業支援補助金 採択事業一覧

### (1次公募採択事業)

No	事業者名	実施地域	申請概要
1	奥尻町	奥尻町	奥尻島内における地熱開発を推進するため、町内の事業者、団体、住民代表者等で構成するビジョン策定委員会を設け、「奥尻町地熱資源利用ビジョン」を策定し、地域に周知することで地元理解の促進を図る。
2	上川町	上川町	北海道外の国立・国定公園地域で行われている坑井調査や、熱水利用等の先進地事例を調査し、国立・国定公園内における自然環境に配慮した開発手法等を習得するとともに、町内の事業者、団体、住民代表者等で構成する地熱研究協議会を通じて開発手法を周知することにより、環境に配慮した地熱開発を促進する。
3	標津町	標津町	寒冷地の農業、水産業における熱水利用に関する先進地調査等を実施し、地熱資源を活用した地域振興事業について検討するなどし、町が掲げる「標津町ネイチャーグリッド構想」の推進を通じた理解促進を図る。
4	標津町	標津町	町内の地熱資源を公共施設において活用するため、公共施設の熱供給配管のほか、熱水供給施設や温室栽培施設を整備し、熱水利用を進めることにより、地熱開発に対する理解を深める。
5	新得町	新得町	関係団体及び有識者で構成する地熱研究協議会を組織し、当該地区における地熱の利活用に関する協議を進め、先進地視察、講演会の開催等を行い、地域における地熱への理解促進を図る。
6	鶴雅観光開発(株) 北電総合設計(株)	二セコ町・蘭越町	具体的な地熱開発に向けて、温泉事業者を対象に発電設備メーカーや掘削事業者と意見交換する講座や小型バイナリー発電を導入した先進地調査等を実施し、バイナリー発電の具体的な導入を目指す。
7	洞爺湖温泉利用協同組合	洞爺湖町	地熱井からの熱水を、洞爺湖温泉街へ集中配湯している洞爺湖温泉利用協同組合の泉源の一つとして副次的に活用することを通じ、地元温泉街の地熱開発に対する理解促進に繋げる。
8	北海道	道内全域	シンポジウムの開催や地熱エネルギー活用支援(専門家派遣)を通じて、地熱に対する理解促進を図るとともに、地熱資源の有効活用に向けた意識の醸成を図る。
9	北海道温泉協会 (株)北海道二十一世紀 総合研究所	道内全域	具体的な温泉発電の導入のため、温泉事業者(実施主体)と発電設備メーカーとのマッチングのための展示会・講演会等を開催する。これにより、温泉発電に対する知識を深めるとともに、具体的な導入促進に繋げる。
10	真狩村	真狩村	地熱開発理解促進協議会準備委員会を開催するとともに、地熱開発に関する勉強会、先進地調査を実施することにより、地熱開発に対する理解促進を図る。
11	森町 北電総合設計(株)	森町	森発電所から供給される熱水の活用ポテンシャルを調査し、現在の利用用途(ビニールハウス栽培)からの更なる広がりを地元関係者ととも検討することを通じ、地域における地熱への理解を促進する。

## 平成26年度 地熱開発理解促進関連事業支援補助金 採択事業一覧

### (2次公募採択事業)

No	事業者名	実施地域	申請概要
1	(株)道銀地域総合研究所 鹿部地中熱事業化検討協議会	鹿部町	漁師等から構成される「鹿部地中熱事業化検討協議会」を中心に、先進地調査や地熱の開発・活用に関する勉強会の開催、次年度以降の地域利用計画の検討を行うことで、地域における地熱開発に対する理解促進を図る。
2	中標津町	中標津町	農協や商工会等から構成される「中標津町地熱促進協議会(仮称)」を設立し、前年度に実施した地質データのとりまとめ結果を活用した勉強会や先進地調査、講演会等を行い、発電後の熱水を活用したハウス栽培事業等の検討をすすめることで、地熱開発に対するさらなる理解促進を図る。
3	八雲町	八雲町	八雲町熊石地域における地熱開発や熱水の活用に関する勉強会や先進地調査を実施し、その成果を広く住民と共有することで地域の理解を促進し、次年度以降の地熱開発促進協議会の立ち上げや町民向けセミナーの開催等、地熱開発に対するさらなる理解促進につなげていく。

### (3次公募採択事業)

No	事業者名	実施地域	申請概要
1	足寄町 足寄町農業協同組合 アルス・ゼータ(有)	足寄町	足寄町における温泉発電後の施設園芸(イチゴ栽培等)の導入可能性を検討するため、施設園芸運営に必要な熱量や熱の利用方策、導入・ランニングコストを検証する。